



TITLE:

通信

AUTHOR(S):

星見小路

CITATION:

星見小路. 通信. 天界 1922, 3(25): 28-28

ISSUE DATE:

1922-12-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/159810>

RIGHT:

月に由り土星は掩蔽される。

天王星 本年中水瓶座を通過する。太陽との合は三月五日、矩象は六月九日、衝は九月九日而して十二月七日更に矩象となる。天王星は十月二十一日月に由り掩蔽される。海王星 蟹座と獅子座との境界地方を通行する。太陽と二月六日衝となり、五月七日と十一月十四日とに矩象となり八月十一日合となる。

通信

大正十一年十一月末

東京にて 星 見小路

海老君!!!

ゴッリの『死せる人々』に出て来るトロイカの様に、炎々燃える火の球が彗星の様に世界の果から果まであらゆる傳統的な認識の體系を破壊して狂奔して行く。幾萬もの人がそれか追いかけて走る。叫びながら又血眼になつて!!!

アルベルト、アインシュタイン。そうだ。彼の名は正にゴッリの三頭槌だ。そのうちならす警鐘は物凄い。だが聴くまいとするにはあまりに魅力なも過ぎる。そして誰でもが火の球を眼懸けて追ひかけるけれども息も切れ切れになつて眼がくらんで雪の曠野に打ち倒れた時にはもうトロイカの姿は影も形も見

えない。――

――私は今、やはり此等の人々の一番か弱い一人さして息切れしに追ひかけて居る。そしてやがて倒れてしまふかも知れない。

アルベルト、アインシュタイン。嗚呼、彼が馭するトロイカの勇しく又迅き事よ――(フアンタジヤ、アラキトシメイの一節)

○上田支部通信

一、七月十日の夜北佐久郡小諸小學校に於て山本理學士の遊星に關する講演及び天體觀測實地指導
二、七月二十四日の夜小縣郡縣小學校に於て同學士の恒星に關する講演及び天體觀測實地指導

三、八月三十一日同郡丸子小學校に於て同學士の講演開催演題「天文と人生」
四、九月一日北佐久郡岩村田小學校に於て同學士の天文講演開催
五、九月二日同好會員輕井澤に會し同學士外遊の壯行會を開く。

(右講演會中丸子は同町有志主催其他は學校又は學校組合會の主催)

○岡山支部十一月通信

一、天界研究會 十一日宮原幹事宅で開會。
二、支部例會 二十六日午後一時から岡山市立商業學校で例會を開き左の講演があつた
本年の天文學界 水野 千里氏

右講演中本年は天文學に關する著書が多數出版されたので、天文學研究者にまつて多幸の年さいふべきで、或る人は天文化の時代來るを叫んで居る。その主なるものを左に少年少女向きのものは

1 淀川茂重著お星様からきいた話 三〇錢

(東洋出版社)

2 實業の日本社出版部編

兎と健三さんの夜の世界旅行記 一二〇錢

一般のものは、

1 淺野利三郎著 宇宙の話 一二〇錢

(日本評論社)

2 原田三夫著 星の科學 二〇〇錢

(誠文堂)

3 東京警醒社書店發行のもの六種

稍高等なるものは、

1 日下部四郎太、菊田善三共著 天文學汎論 六八〇錢 (内田老鶴圃)

2 一戸直藏譯 宇宙の進化 三八〇錢

(宇宙發展論改題) (大燈閣)

3 同上 宇宙創成史 三八〇錢

(宇宙開闢論史改題) (大燈閣)

次に、大正十二年曆、大正十二年略本曆、何れも大に改正せられて居るから是非一度は御覽下さい。

三、講演會 宮原幹事は二十六日第三神戶中學校で催された講演會に臨席し左の講話をした。

太陽系に就いて